



本校の全国学力・学習状況調査結果から

4月22日（火）に3年生を対象に実施された平成26年度全国学力・学習状況調査が、8月に公表されました。本校ではそれを受けて、結果の分析から本校の課題を絞り出し、今後の具体的な取組について検討をしましたので、次に報告いたします。

<学力状況調査結果から>

○国語

国語Aの「言語文化と国語の特質」について、市の平均より若干下回っている。

【調査結果から】

- ・文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。
- ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使ったり、辞書を活用して語句の意味を書いたりすることについて苦手な傾向が見られる。

【今後の具体的な取組】

- ・分からない言葉は、国語辞典などを活用して調べ、言葉への関心を高めるようにする。
- ・分かる漢字や授業で習った漢字については、日頃から意識して使うように指導する。また、字は丁寧に書くように指示する。

国語Bの「読むこと」について、市の平均より若干下回っている。

【調査結果から】

- ・目的に応じて必要な情報を文章や資料から読み取ったり、いくつかの情報を組み合わせて判断するなど、読み取った情報を活用することに課題がある。

【今後の具体的な取組】

- ・新聞記事や練習問題などの文章と図表との関連を考えさせながら、説明文の内容を読み取ることができるよう指導する。

○数学

数学Aの「数と式」「図形」について、市の平均とほぼ同等である。

【調査結果から】

- ・小数や分数、累乗（指数の意味）、連立方程式の計算、並びに数量の大小関係を不等式に表すことに課題がある。
- ・図形の回転移動の前後における角の対応を読み取ることに課題がある。また、証明の必要性和意味を理解できるように指導する必要がある。

【今後の具体的な取組】

- ・計算力アップが図られるように、授業の始めに計算問題等に取り組みさせる。
- ・数量の大小関係を文脈に沿って、「以上」「以下」「より大きい」「未満」についての確に捉えて適切に表現する活動を授業で行う。

数学Bの「数と式」「関数」について、市の平均より若干上回っている。

【調査結果から】

- ・予想された事柄が成り立たない場合、その理由を説明することについて苦手な傾向が見られる。
- ・2つの数量の関係を数学的に説明することに課題がある。

【今後の具体的な取組】

- ・事象を数学的に表現したり、表現された結果を事象に即して解釈したりすることをおして、事柄が成り立つ理由を筋道をたてて説明する活動を授業の中に取り入れる。

＜学習状況調査結果から＞

○学習に関する関心・意欲・態度

- ・「授業で、自分の考えを発表する機会が多くあった」の割合は市の平均より上回っているが、「授業で、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた」の割合は下回っている。また、「授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていた」割合が若干下回っている。

○基本的な生活習慣について

- ・「毎日同じくらいの時間に起きている」割合は市の平均とほぼ同等であるが、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」割合が大幅に下回っている。
- ・「普段、1日あたり3時間以上、テレビやビデオ、DVD を見ている（テレビゲーム、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする）」割合が市の平均より大幅に上回っている。

○家庭での学習習慣

- ・「家で学校の授業の予習をしている」割合は市の平均とほぼ同等であるが、「家で学校の授業の復習をしている」割合は大幅に下回っている。
- ・「平日2時間以上の家庭学習をしている」割合は市の平均とほぼ同等であるが、「休日に3時間以上の家庭学習をしている」割合は大幅に上回っている。

【今後の具体的な取組】

- ・テレビ等の視聴、携帯電話やスマートフォン、コンピュータを使う時間を決めさせる。継続して勉強した場合と継続してゲームやインターネットをした場合とを比較させ、自分の将来のためにどちらが大事なのかを学級活動や道徳の時間を利用して考えさせる。また、養護教諭の協力を得ながら、所謂「ゲーム脳」や目への負担などについても指導を行う。
- ・授業と家庭学習の学習の連続性が保たれるように、各教科において宿題の内容を検討する。また、家庭での復習の仕方や内容についてもその都度指示をする。さらに、特に週末には十分に時間をとって学習するように、週末課題を各教科から出す。

【いじめ防止や規範意識の確立について】

- ・いじめは絶対に許さないという意識をもたせるために、道徳の授業ではいじめに関連した資料を取り上げるなど、すべての学校教育活動の中で継続して指導をしていく。
- ・学校の規則に限らず、社会のルールがなぜ存在するのかについてよく考える機会を学級活動の中で設ける。

＜学校としての継続した取組＞

国語、数学の学力状況調査から表のページに掲載した課題が見られました。同じような課題については、他の教科や1，2年生にも共通していると考えられることから、全教員で共通理解を図り、全ての教科で課題解決に向けて取り組んでまいります。

学習状況調査の結果から「授業の目標が示されていた」割合が低いことについて、本年度の校内研究において「1時間の授業の初めに学習のねらい（「今日の学習」）を提示し、それをもとに授業を行い、最後にねらいをもとにしたまとめや振り返りをさせる」ことに取り組んでおりますので、一層の継続と更なる徹底をいたします。また、話し合い活動については、授業においてペアやグループ学習を適宜取り入れるなど、学習形態の工夫をさらに図ってまいります。

例年の調査結果から、基本的な生活習慣（一般的に言われる「早寝・早起き・朝ご飯」）が身につけている生徒は家庭での学習時間も十分に確保しているとの結果が出ています。保護者の皆様におかれましては、こうした結果についてご理解いただき、基本的な生活習慣と家庭での学習習慣の一層の確立について、今後とも一層のご協力を承りますようお願いいたします。